あおぎり

平成24年度吉田小学校だより
第24号　　　平成24年12月　1日
発行責任者　校長　石島　光夫

「いじめの問題」に向き合う

自分ならば何ができるか真剣に考える姿が
４年　「人権教室」の学習

11月30日（金）の５時間目に４年生の全学級で人権教室を開きました。

人権教室では，人権擁護局から講師の先生を４人お招きして，授業をしました。

今回の人権教室では「いじめ」を取り上げ，ＤＶＤを使って学習しました。

ＤＶＤのアニメの中で，いじめられている友達に対して自分ならばどういう態度をとるか，また，いじめを目撃したときにどうすべきか子どもたちは真剣に考え，意見を発表していました。

お招きした４人の先生方からは，４年生がＤＶＤの中のいじめ場面をよく理解し，一人一人が自分ならばどうすればよいのか真剣に考えていてすばらしいですねという感想をいただきました。校長の私も授業を見ましたが，子どもたちが真剣にいじめに向き合い，どうしたらいじめられている友達を助けてあげられるか，またいじめを目撃したときにどのように対応すればよいのか意見を述べていました。何よりも他人事としてとらえるのではなく，自分自身の問題としていじめの問題に向き合っていました。不安を感じている友達や困っている友達を見かけたとき，あるいはいじめを目撃したときに，今回の人権教室で学んだことをぜひ生かして勇気ある行動がとれる児童になってほしいなと思います。

新聞感想文コンクール

４年生が「県知事賞」を受賞
３年生が「県ＰＴＡ連絡協議会長賞」を受賞

夏休みの課題として取り組んだ新聞感想文を応募したところ，本校４年の○○　○○さんが4,5,6年生の部で「茨城県知事賞」に，1,2,3年生の部で３年生のH24.11.21　学校だより第23号.○○　○○さんが「茨城県ＰＴＡ連絡協議会長賞」に輝きました。夏休みに新聞を読んで，自分なりに考えをまとめた内容がすばらしかったからだと思います。２年前から実施された学習指導要領の中では，国語や他の教科の中で自分の考えを200字程度にまとめる力を付けることが大事であるということで，どの教科でも自分の考えをまとめて書くという活動が重視されています。学校でも，様々な教科の学習の中で自分の考えをしっかりともてる児童を育てていきたいと考えています。

ノロウイルスに注意

12月が流行のピークとのこと

茨城県保健部では，12月がノロウイルスの感染のピークになるので注意するよう呼びかけています。

症状は腹痛，吐き気，吐瀉です。特に吐瀉物を媒介してウイルスが感染しますので，始末をするときには手袋をし，さわったものは塩素系の消毒剤で丁寧に洗うかゴミとして厳封をして捨ててください。学校では，ノロウイルスやインフルエンザ予防として，うがいや手洗いをしっかりするよう指導しています。ご家庭でもインフルエンザの予防と同時にノロウイルス感染予防についても注意していただきたいと思います。